

理事会の動き

◆第80回理事會報告

昭和61年11月1日(土)に第80回素心会理事會が、素心学院ホールにて開かれました。

10名の役員が出席し次の通り審議、決定されました。

- ①昭和61年度補正予算案の承認
- ②就業規則の一部改正について原案通り承認

③素心学院の現状及び今後の具体的方向について田代施設長より説明があった。特に昭和63年度の高齢者対策を含めた施設整備計画は、予定通り実施することを確認された。

理事會終了後、二宮「喜美」にて理事會役員と学院中堅職員との懇親會が開かれました。

◆第81回理事會報告

昭和62年3月7日(土)に第81回素心会理事會が、横浜のウェディング玉姫殿會館にて開かれました。9名の役員が出席のもとで次の通り審議、決定がなされました。

- ①昭和61年度補正予算案の承認
- ②昭和62年度事業計画及び予算案について承認

◆第82回理事會報告

昭和62年5月9日(土)に第82回素心会理事會が、藤沢駅北口一角若松の會館にて開かれました。8名の役員が出席のもとで次の通り審議、決定されました。また理事會に先立ち、紅梅会理事長の菅先生の叙勲に対し、素心会よりお祝いがおくりされました。

①昭和61年度事業報告及び決算案について承認

②経理規程の一部改正について原案通り承認

③昭和61年度県監査についての結

後援会加入のお誘い

みなさん//素心学院後援会に加入しませんか。

私達は素心学院の運営を側面より援助し、わずかでも障害者の福祉に寄与できたらという主旨で、後援会活動を行なっています。

会員一人一人の事情にあわせて無理のない、いろいろな協力や参加の形を考えております。

- 主な活動内容
 - ① 会員をふやそう/
 - ② 資金を集める為にバザー等を行なおう/
 - ③ 素心学院でボランティアをしよう/
- 会費は年額 一口1,000円です。会員には素心学院新聞が郵送(年2回)され、また毎年5月には総會が開かれます。

入会案内書をお送りいたしますので、後援会事務局までご連絡下さい。

素心学院後援会会長
水沢孝幸

●事務局
〒259-01 神奈川県中郡大磯町虫窪24
素心学院内 [担当一彦坂]
Tel(0463)71-1255番



果及び改善措置について報告

コーナー

後援会

ボランティア委員会とはその各

今回よりこのコーナーを利用し、シリーズ(4回)で後援会活動の内容を詳しくご紹介をしてゆきたいと思えます。

素心会の後援会には3つの委員会(事業、会員・ボランティア)の他に運営委員会という本部と各委員会の代表とで組織する会があり、合せて4つの動きがあります。第一回はこの中から、ボランティア委員会をとりあげてみました。

の通り、素心学院においてボランティア活動を行なおうというもので、現在はグラウンドの清掃、土手の芝刈り、花壇の手入れなどを中心に作業をしています。活動日は毎週木曜日で、約三時間位の作業です。これは大磯町「ボランティアアさんか」の皆様(毎回四〜五人)の奉仕活動と合同で行なう形をとっていて、大きな力となり学院側にとっても無くてはならない存在となっているようです。夏・冬はお屋位までの作業が多いのですが、気候のよい春・秋はお弁当持参で、午後まで活動することもあります。

現在の悩みのタネは、後援会の人の参加が少ないことです。毎週参加する必要はありませんので、時間の許す時にぜひ皆様おかけ下さい。

素心学院でボランティア活動をしていると、いろいろな行事(盆踊り、もちつき等)のお手伝いやご招待の誘いを受けることがあり入所者といっしょになつて楽しいひとときをすごすこともあります。

ボランティア活動について、詳しいことをお聞きになりたい方は、ボランティア委員長の彦坂(0463・72・4399)までお電話下さい。

編集後記

▼そしん第7号をお届けします。原稿をすつと手元で暖めている間にいつの間にか、新鮮味が薄れてきてしまひ、いつもので頭をかかえてしまふ。早く早く...が新聞編集を担当する職員の出陣。次号はさあ...と出す...

▼種をまく、芽が出る、花が咲いて、実になり、また種が落ちて、頃になってようやく原稿が上った。毎年繰返す青つ草花に似て私の原稿も前号と同じく長い一生があったのでした。...

▼引越した水洗トイレから、懐かしいみ取り式トイレに変わった。どうも水に流すより、底にためている水の方が責任感がある感じがしている。

どの位出たか気になるより出た後の快感だけを信じて一日が始まる。次号もがんばろう。...

▼夕刻、南の空を見上げると、カラスが一羽、薄紅の雲の中に飛んでいた。薄紅は、かなり夏バテにまいっていたせいかな、一瞬、ひとく日に焼けた鳥だなぁと不思議な気がした。...

素心学院施設長 田代哲郎

第7号

1987年10月10日発行



(作業D班) 古切手整理

使用済の切手を水につけて、干して、種類別に分けて、***整理しています。



(実習B班) しいたけ 茸 権

近くの山から原木をわけていた。穴をあけて、菌を植えて。そして今は裏山の中で序々に育っている。

子育て

▼先日、職員會議で日曜の午前中に院生がコーヒーを飲んで良かった、という事が話された。施設ゆえの議題である。一人二人の少人数の生活ならこの辺で一杯といたくが、集団となるかか職員の数やら、参加者やら健康面などで簡単にはいかない。▼施設は集団生活であり、少数の職員が多くの院生を扱う時、どうしても集団的ケアが中心になつてしまふ。待ってね「もっと早く」と皆んなを「ま、ためて」行なわざるを得ない。

▼一方集団生活の様々な利点も忘れてはならない。人として、集団として必要最低ルールに従う事は大切である。一人の希望や要求がそのルールをどこにひいたら良いのかをいつも問うている。そしてそのルールが、皆んなの為に必要以上に、個人を抑える事があってはならない。▼「健康で安全な生活」の名のもとに、一杯のコーヒーのゆくえは職員によって決められる。「健康と安全」の名のもとに集団と個人の格差が縮められようとしてしまふ。▼かくして本日付をもって一杯のコーヒー論は完結した。一日曜の午前中、飲みたい人にコーヒーを。愛すべき素心流完結編である。(丸)

施設長にきく

素心のゼットー、 特長はなにか。

今まで学院だよりとして、クラブ・お好み食堂・旅行などの学院の様子や、素心にかかわる人々の紹介をしてきたが、今号では素心の内面に目を向けてみたいと思う。

精神薄弱者更生施設の目的には、自立更生とあるが現状に即してはいない感じがする。それは微々たるものかもしれないが、確実に福祉をとりまく環境が変化しているからであり、加えて、ニーズがますます多様化しているからである。そんな現状の中で素心学院はどんなことをモットーに、何を目標に動いているのか、その辺りをわが素心の田代施設長に聞いてみた。

生かし、生かされる関係

素心学院が児童・成人施設が一本化してすでに8年過ぎましたが施設長が見た感想は……

「まずこの仕事についての考え方が、それほどなにか世の中で特別に変わった仕事とか、特に力んで

からニコニコと表情が
いい方をとるか、ダメ
だやらなきゃ、という
方(どちらをやるか)か
て言えば……

「結果的におおらかにニコニコしている方をとります。指導訓練というふうな意味あいとか、自立というふうなことは、どちらかというと薄いのではないかな。」

院生のそれぞれ持っている、堅く言えば人格を大事にするという考え、それ以外の持ち味をお互いに生かし、生かされよう……「職員共々」というような色合いは他の施設にくらべるとずっと強いです。「くらし」(指導計画書のこと)の一番基本になっている一人一人を大事に！大切にするということになる感じがします。」

基準は一般社会

「物事を決定していく根拠に、この一人一人を大切に……という事を考えて見て管理面、生活全般を見て管理面と個人の欲求の兼ね合いをどうするか方向が見えてくるのでは……」

「そこがプロとしての腕の見せどころなんです。何処に基準を置くかというところ……」

スタートした 「かながわ福祉プラン」

21世紀福祉社会をめざして

21世紀は間近に迫り、高齢化や情報化など時代の流れもはっきりしてきています。明るく豊かな社会が予想される21世紀にも解決しなければならぬ厳しい課題がたくさんあります。こうした課題を乗り越え「心豊かな人間味あふれる福祉社会」を築くためには行政、県民、民間団体、企業などが福祉理念を共有し、ともに考え、ともに行動していくことが大切です。

「かながわ福祉プラン」は、そのためのマスタープランです。このプランは、二つの基本原則と五つの原則を「福祉理念」として定めています。

二つの基本原則は、「ノーマライゼーション」と「可能性の哲学」です。

「ノーマライゼーション」とは、ハンディキャップを負った人びとが、地域社会の中で、できるだけ正常な社会生活を送れるようにするという考え方で「可能性の哲学」とは、どんなに重いハンディキャップを負った人である

っても、その人の持つさまざまな可能性の発見と開発を行い、社会生活の中で活かしていくという考え方です。

また、原則は「総合化」「地域化」「自立と参加」「公私の役割と協働」「資源活用と負担」の五つです。

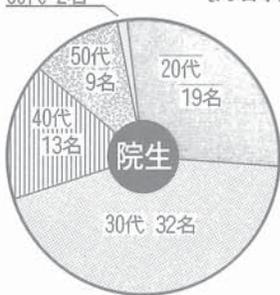
この基本理念に従って、どのような方向で、何を実施するのかを明らかにしたものが「基本計画」「実施計画」です。

基本計画は西暦二〇〇〇年までに取り組むべき方策や、実施計画は、本年度から五年間に、県民の皆さんや市町村と協力して進めていく具体的な施策を示したものです。

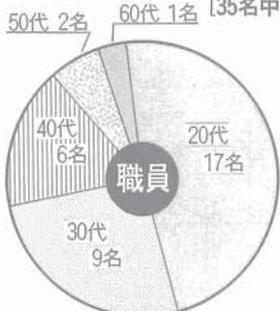


素心学院って なに?

●「院生年齢構成」 [75名中]



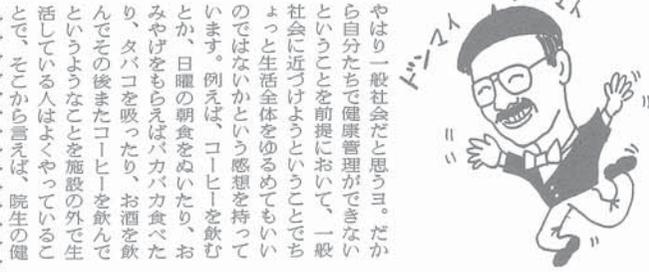
●「職員年齢構成」 [35名中]



●「班別平均年齢」

- 実習A班 — 39.7才
- 実習B班 — 37.7才
- 作業A班 — 32.8才
- 作業B班 — 47.2才
- 作業C班 — 32.6才
- 作業D班 — 30.8才
- 基礎班 — 29.4才

素心学院の
年齢 昭和30年生まれの
32才です。



「例えば一つのことをAの職員は肯定して、Bの職員は否定して同時に院生にあたっていくとすれば、非常にまずいと思うんですよ。決まりきった弊識なことでも職員間にバラツキがあるのもまずいし、ただ総合的にみて、福祉的に理にかなった法則だけでなく、もっと芸術的とか、文化的な面、社会的

「例えば一般的な会社だと思えば、自分たちで健康管理ができないというのを前提において、一般社会に近づけようということではないかという感想を持っています。例えば、コーヒを飲むとか、日曜の朝食をぬいたり、おみやげをもらえばバカバカ食べたりの、タバコを吸ったり、お酒を飲んでその後またコーヒを飲んでというふうなことを施設の外の生活している人はよくやっていることと、そこから言えば、院生の健

「職員一人一人の個性によって院生に対する接し方にもそれぞれ特徴があると思っていますが……」

「まっ、統一するのは無理なところがある。それが打ち出せばいいんだけど、なかなか難しい問題ですね。素心学院にも根底に流れる思想があればいいですが、今は特にそれもありません。物事の基本ですがね……」

施設長のインタビューから、素心学院もいろいろな矛盾を抱えながら一歩二歩と前に進んでいる。それを今あるいろいろな風を生かす、それには今あるいろいろなコミュニケーションと深い思慮がもっともっと必要であることを感じた。



